

社会システム研究

第 25 号

2022年 3 月

〔論 説〕

展覧会の企画活動がいかに正当化されるのか

— 日本の画廊と美術館を例にして — …………… 王 勁 為 … 1
令和時代における天皇賞の再生

— TV アニメ『ウマ娘 プリティーダービー』を事例に — …………… 高 橋 一 友 … 19
1952 年韓国釜山政治波動の政治思想的影響 …………… 高 城 建 人 … 39

1930 年代の中国における水産教育の変遷

— 水産学校教育から漁民教育への試み — …………… 楊 峻 懿 … 61
命の惜しい人は刺身を食ふな

— 植民地台湾の飲食とコレラ — …………… 林 淑 美 … 83
1950 年代『ボーギーとベス』の海外公演とアメリカ文化外交

— ソ連、東欧公演を中心に — …………… 山 口 瑞 貴 … 109
二人の「人間」のユートピア

— ヴァイニングとリルケの〈所有なき愛〉を比較して …………… 白 坂 彩 乃 … 131
世界への気遣いとしての活動的生

— ハンナ・アーレント『活動的生』における
活動の場所指定の重要性 — …………… 林 大 地 … 149

前期ヴァルター・ベンヤミンにおける「同一性」について …………… 近 藤 史 隆 … 167
規範的政策分析において制約の可変性に注目することの「副作用」 …………… 香 月 悠 希 … 185

労基法 39 条 1 項の継続勤務要件に関する考察

— 労働契約間に空白が生じる場合の判断方法と
各考慮要素の重要性について — …………… 平 木 健 太 郎 … 201

横溝正史『悪魔の手毬唄』における横光利一「時機を待つ間」、
岡本綺堂「山椒魚」からの影響について …………… 道 合 裕 基 … 213

スウェーデンフェミニスト外交にみるラディカル・デモクラシーの萌芽

— サウジアラビアとの外交危機を事例に — …………… 深 田 明 … 227
再帰的近代化論と親密圏・公共圏論の布置 …………… 吉 田 純 … 247

(崔昌幸 英訳)

犬儒派マルクス …………… 大 黒 弘 慈 … 265

(今井慧仁・袖江夏弥・中村安里 英訳)

〔社会システム研究刊行会構成員〕

吉田 純	京都大学大学院人間・環境学研究科教授（社会行動論分野）
柴田 悠	京都大学大学院人間・環境学研究科准教授（社会行動論分野）
細見 和之	京都大学大学院人間・環境学研究科教授（文明構造論分野）
大黒 弘慈	京都大学大学院人間・環境学研究科教授（現代社会論分野）
柴山 桂太	京都大学大学院人間・環境学研究科准教授（現代社会論分野）
鷓飼 大介	京都大学大学院人間・環境学研究科助教（現代社会論分野）
土屋 由香	京都大学大学院人間・環境学研究科教授（国際社会論分野）
見平 典	京都大学大学院人間・環境学研究科准教授（国際社会論分野）
齋藤 嘉臣	京都大学大学院人間・環境学研究科准教授（国際社会論分野）
小倉 紀蔵	京都大学大学院人間・環境学研究科教授（多文化複合論分野）
太田 出	京都大学大学院人間・環境学研究科教授（地域文明論分野）
浅野 耕太	京都大学大学院人間・環境学研究科教授（共生社会環境論分野）
小畑 史子	京都大学大学院人間・環境学研究科教授（共生社会環境論分野）
佐野 亘	京都大学大学院人間・環境学研究科教授（共生社会環境論分野）

〔執筆者紹介〕

王 勁 為	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年
高 橋 一 友	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年
高 城 建 人	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年
楊 峻 懿	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年
林 淑 美	京都大学非常勤講師
山 口 瑞 貴	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了
白 坂 彩 乃	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 2 年
林 大 地	京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程 2 年
近 藤 史 隆	京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程 1 年
香 月 悠 希	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年
平 木 健太郎	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 1 年
道 合 裕 基	京都大学吉田南総合図書館・職員
深 田 明	京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程 1 年
吉 田 純	京都大学大学院人間・環境学研究科教授
崔 昌 幸	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年
大 黒 弘 慈	京都大学大学院人間・環境学研究科教授
今 井 慧 仁	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 2 年
柚 江 夏 弥	京都大学大学院総合生存学館博士一貫課程
中 村 安 里	京都大学大学院総合生存学館博士一貫課程

社会システム研究 第 25 号

2022 年 3 月 18 日発行

編集・発行者 京都大学大学院人間・環境学研究科

社会システム研究刊行会

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学大学院人間・環境学研究科内

印刷所 (株)北斗プリント社 〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
TEL (075) 791-6125 FAX (075) 791-7290

SOCIALSYSTEMS

: political, legal and economic studies

NUMBER 25

MARCH 2022

ARTICLES

- How Curatorial Activities of Exhibitions Are Legitimized
 : The Case of Japan's Galleries and Museums WANG Jinwei
- Rebirth of the Emperor's Cup in the Reiwa Era
 : The Case of the TV Anime "Uma Musume Pretty Derby" TAKAHASHI Kazutomo
- The Political Implication of Political Crisis in Busan in 1952 Focusing on Ideology
 TAKASHIRO Kento
- The Transition of Fisheries Education in China in the 1930s
 : From Fisheries School to the Education for Fishermen YANG Junyi
- People Who Value Their Lives Should Not Eat Sashimi
 : The Relationship Between Food and Cholera in Colonial Taiwan LIN Shumay
- Exporting "Porgy and Bess" to Soviet Bloc Countries
 : In the Context of American Cultural Diplomacy in the 1950s YAMAGUCHI Mizuki
- Die Utopie zweier „Menschen“.
 : Die >besitzlose Liebe< bei Weininger und Rilke SHIRASAKA Ayano
- "Vita Activa" als Sorge um die Welt
 : Die Bedeutung von Lokalisierung der Tätigkeiten
 in Hannah Arendts *Vita activa* HAYASHI Daichi
- Zur „Identität“ bei dem frühe Walter Benjamin KONDO Fumitaka
- "Side Effect" of Focussing on Malleability of Constraint in Normative Policy Analysis
 KATSUKI Yuki
- Consideration of "Employed Continuously for Six Months" Art. 39, Par. 1 of the Labor Standards Act
 : Factors to Be Considered and Priority of Each Factor in Case There Is a Blank Period
 Between the Renewal of Short-Term Labor Contracts HIRAKI Kentaro
- Influence of Yokomitsu Riichi's "Jiki wo matsu aida" and Okamoto Kido's
 "Sanshouuo" on Yokomizo Seishi's "Akuma no temari uta" DOAI Hironori
- Radical Democracy Practice with Swedish Feminist Foreign Policy
 : The Case of Diplomatic Crisis Between Sweden and Saudi Arabia FUKADA Sayaka
- Reflexive Modernization Theory and Intimate/Public Sphere Theory YOSHIDA Jun
 Translated into English by CHOI Changhaeng
- Marx the Cynic DAIKOKU Koji
 Translated into English by IMAI Akihito, YUZUE Natsuya, and NAKAMURA Asato
-